

五島列島～教会をめぐる旅



旧五輪教会堂(重文)



青砂ヶ浦教会(重文)

長崎県五島列島には江戸時代多くの潜伏キリシタンがあり、明治6年禁教令が解けると、それぞれの集落に自らの手で教会堂を建てはじめました。その数50余り。木造、レンガ造り、石造りなど構造、規模もさまざまながら、人々の暮らしにとけこみ自然と調和した姿はどれも美しい。そのうちの多くを設計したのが上五島出身の鉄川与助です。これらの教会群は2007年に世界遺産暫定リストに登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」にも含まれています。

この五島の教会と自然、町並みを訪ねます。

- 日程** 2018年3月14日(水)～17日(土) 3泊3日
- 集合** 3月14日 午後11時博多港(集合場所の詳細については後日参加者にご案内します)
(福岡空港から博多港まで地下鉄+バスで約30分、あるいはJR博多駅からバスで約30分))
- 解散** 3月17日 午後3時45分 長崎港
(JR長崎駅へ路面電車で約10分、長崎空港への連絡バスあり)
- 訪問先** 福江島 堂崎天主堂(県指定文化財)、水の浦教会、楠原教会
久賀島 旧五輪教会(重文)、浜脇教会
上五島 青砂ヶ浦教会(重文)、桐教会、旧鯛の浦教会、冷水教会、大曾教会など
崎浦の町並み
現地では貸切小型バス等で移動します。
- 宿泊** 14日 フェリー太古(博多～福江) ツイン客室
15日 民宿えび屋
16日 リゾートホテルマルゲリータ
- 定員** 24名
- 参加費** 会員 85,000円
- 申し込み締切** 1月31日

認定特定非営利活動法人 アメニティ2000協会
事務局 西宮市北昭和町3-20 清水
TEL・FAX 0798-65-4303 携帯080-3138-4164 Email soshisha@f6.dion.ne.jp
URL <http://amenity2000.la.coocan.jp/>

主な訪問先

* 旧五輪教会堂 (久賀島、重要文化財)

1881年(明治14年)に浜脇教会として建築、のちに五輪地区に移築される。すべての部材を人力のいかだで運んだといわれる。長崎県にある教会堂としては大浦天主堂(国宝)に次ぐ古さを持つ木造教会であり、移築の際に特に改修をしていないことから創建当時の姿を残している。

* 青砂ヶ浦教会 (中通島、重要文化財)

1910年(明治43年)築。鉄川与助の設計。レンガ造り、瓦葺。内外ともに意匠が優れ、日本人の手になる初期煉瓦造キリスト教建築の代表的作品の一つである。¹

* 土井の浦教会 (若松島)

1915年に旧大曾教会を買い受け、大規模な修理を行って現在に至っており、港から見ると天を仰ぐように建っている。外見と違って中は極めて重厚な造りである。

* 堂崎天主堂 (福江島、県指定有形文化財)

五島で最初に建てられた教会堂。1908年築。レンガ造・ゴシック様式の平屋で、その美しい外観は五島内の他の天主堂の模範となった。現在は堂崎天主堂キリシタン資料館として使われている。

* 鉄川与助

明治12年上五島町に大工の棟梁の子として生れる。20歳のころから教会建設に関わる。外国人宣教師から西洋建築の技術を学び、五島をはじめ九州各地に教会堂を建設した。その数は増築をふくめて28棟といわれ、ひとつとして同じデザインはないという。

* 崎浦地区の石の町並み (中通島)

中通島には砂岩層がひろがっており、「五島石」とよばれて石畳、石塀などに使われた。長崎の居留地でも使用された。崎浦の集落ではこの五島石があらゆる所で使われている。その独特な集落景観が評価され、2012年に国の重要文化的景観に選定された。頭ヶ島天主堂も五島石で造られている。

* 民宿えび屋 (若松島)

網本がはじめた民宿で、上五島の海の幸が楽しめる宿。

* リゾートホテルマルグリータ (中通島)

海をのぞむ高台にある29室のこじんまりしたホテル。半露天風呂は自家源泉の単純温泉。